

第四次経営推進プランの経営目標に対する令和元年度達成状況について

長野県立総合リハビリテーションセンター

はじめに

総合リハビリテーションセンターでは、「第四次経営推進プラン（計画期間：平成30～令和2年度）」に基づき、経営を推進し、サービスの向上に取り組んでまいりました。

当プランに掲げる経営目標に対する令和元年度の達成状況について、次のとおり公表します。

なお、当センターは、令和元年10月の東日本台風（台風第19号）による浸水被害を受けたため、令和元年10月13日から令和2年3月30日まで一部機能を除き運営を休止していました。

第1 全体目標の達成状況

全体目標	令和元年度実績	備考
① センター使用料収入額 13億円以上の達成	8億3,547万円余	医業収入 7億5,069万円余 施設収入 8,477万円余
② 病院部門における職員給与費の 1.9倍以上の医業収入の確保	1.30倍	職員給与費 6億4,095万円余

① センター使用料収入額について

○医業収入は、7億5,069万円余となり、前年度に比べ35.3%減少しました。

○施設収入は、8,477万円余となり、前年度に比べ42.4%減少しました。

○その結果、医業収入と施設収入を合わせたセンター使用料収入額は、8億3,547万円余で、前年比36.1%減となり、プランの全体目標である「13億円以上」は未達成となりました。

（参考）

《医業及び施設収入の推移》

（単位：百万円）

（年度）	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
医業収入	1,284	1,244	1,142	1,160	751
施設収入	166	165	132	147	85

② 職員給与費について

○医業収入の8億3,547万円余は、病院部門の職員給与費6億4,095万円余の1.30倍であり、プランの全体目標である「1.9倍以上」は未達成となりました。

第2 個別目標の達成状況

各部署の業務等に関し設定している個別目標の達成状況は次のとおりです。

区 分		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 目標値
更生 相談	更生相談件数	7,395 件	8,598 件	7,300 件
	出前講座開催件数（3年間） ※1	13 件	21 件	20 件
障 が い 者 支 援 施 設	新規施設利用者数	50 人	26 人	61 人
	うち病院部門経由	18 人	9 人	20 人
	1日平均利用者数 ※2	47.0 人	25.5 人	56.0 人
	施設利用率 ※3	59.7 %	31.9 %	70.0 %
	理学療法実施延べ人数	8,506 人	3,964 人	8,000 人
	理学療法実施総時間数	5,462時間	3,693時間	5,500時間
	作業療法実施延べ人数	7,570 人	3,865 人	7,000 人
	作業療法実施総時間数	6,770時間	3,581時間	6,000時間
医 療	医師数 ※4	6 人	5 人	7 人
	看護師数 ※4	55 人	55 人	54 人
	外来患者数	19,722 人	14,332 人	20,000 人
	手術件数（整形外科）	428 件	214 件	400 件
	神経ブロック件数 ※5	90 件	49 件	110 件
	入院患者数	575 人	273 人	620 人
	病床利用率（1階病棟） ※6	68.4 %	36.1 %	73.0 %
	病床利用率（2階病棟） ※6	71.0 %	31.9 %	78.0 %
	2階病棟個室利用率	86.0 %	44.4 %	88.0 %
	平均在院日数（1階病棟）	93.9 日	70.0 日	80.7 日
	平均在院日数（2階病棟）	20.8 日	14.8 日	19.4 日
	転院患者受入件数（1階病棟）	60 件	33 件	80 件
	MRI 依頼検査件数 ※7	36 件	20 件	53 件
	CT 依頼検査件数 ※7	0 件	0 件	5 件
	ジェネリック薬品使用率 ※8	77.7 %	75.8 %	80.0 %
	理学療法実施延べ人数	16,833 人	8,986 人	18,000 人
	理学療法実施総単位数	37,972 単位	20,650 単位	35,500 単位
	作業療法実施延べ人数	8,071 人	4,655 人	9,100 人
	作業療法実施総単位数	15,783 単位	9,244 単位	16,900 単位
	言語聴覚療法実施延べ人数	3,934 人	2,081 人	4,500 人
言語聴覚療法実施総単位数	7,361 単位	3,934 単位	8,750 単位	
義肢装具製作件数	177 件	109 件	190 件	
義肢装具修理件数	204 件	145 件	200 件	

区 分		平成30年度 実績	令和元年度 実績	令和2年度 目標値
エ コ ロ ジ ー & エ コ ノ ミ ー	電気使用量の削減 ※9	3.4% 削減	30.2% 削減	1.5% 削減
	燃料(灯油、重油)使用量の削減 ※9	1.8% 増加	28.1% 削減	5.0% 削減
	水道使用量の削減 ※9	2.3% 増加	17.1% 削減	3.0% 削減
	用紙類の削減 ※9	41.8% 増加	21.2% 増加	5.0% 削減

注 ※1 出前講座開催件数(3年間)は、平成30年度実績は平成27年度からの累計数値、令和元年度実績、令和2年度目標値は平成30～令和2年度の合計数値

※2 1日平均利用者数は、(日中活動支援付短期入所者を含む入所者数+通所利用在籍者)÷365日

※3 施設利用率=1日平均利用者数÷定員80人×100

※4 医師数及び看護師数数は、代替職員を含み、休業中の職員を含まない。

※5 より高度な全身管理を必要とするため、手術室において行う神経ブロック件数

※6 病床利用率=(在院患者延数+退院患者数)÷(365日×40床)×100

※7 MRI依頼検査件数、CT依頼検査件数は、他院からの依頼を受けて実施する件数

※8 ジェネリック薬品使用率は、数量ベース

※9 電気使用量、燃料(灯油、重油)使用量、水道使用量、用紙類の目標値は、基準年度(平成28年度)の使用量に対する削減率

[更生相談]

○更生相談件数は、平成30年度に比べ大幅に増加し、目標に対して17.8%上回りました。

○出前講座は21件となり、3年間の講座開催目標を達成しました。

[障がい者支援施設]

○令和元年10月の東日本台風(台風第19号)による浸水被害を受け、施設1階部分を休止したため、新規施設利用者数1日平均利用者数、施設利用率とも前年実績、目標を下回りました。

○理学療法及び作業療法についても、実施延べ人員、実施総時間数とも前年実績、目標を下回りました。

[医療]

○医師数は、令和2年1月末で医師1名が退職したため、整形外科医2名の欠員が生じました。

○看護師数について目標の人員を確保することができました。

○令和元年10月の東日本台風(台風第19号)による浸水被害を受け手術を休止したため、脊椎手術・関節手術等の手術件数(整形外科)は、前年実績、目標を下回りました。神経ブロック件数も、前年実績、目標を下回りました。

○令和元年10月の東日本台風(台風第19号)による浸水被害を受け外来・入院診療を休止したため、外来患者数、入院患者数とも、前年実績、目標を下回りました。

○MRI依頼検査件数は、前年実績、目標を下回りました。

○ジェネリック薬品使用率は、前年実績から1.9%低下し、目標を下回りました。

○理学療法、作業療法及び言語聴覚療法は、令和元年10月の東日本台風(台風第19号)による浸水被害を受け、診療を休止したため、実施延べ人員、実施総単位数とも、前年実績、目標を下回りました。

[補装具]

○義肢装具製作件数及び修理件数は、令和元年10月の東日本台風(台風第19号)による浸水被害を受け、一部製作・修理を休止したため、前年実績、目標を下回りました。

[エコロジー&エコノミー]

○電気使用量、燃料(灯油、重油)、水道使用量、用紙類とも、目標達成を大幅に上回る削減が図られました。

おわりに

第四次経営推進プランの最終年度となる令和2年度については、県立病院として新型コロナウイルス感染症に対応しながらも、経営目標達成に向け、職員一同努力してまいります。